

令和 4 年 2 月

各関係機関の長 殿

愛知医科大学加齢医科学研究所
所長 岩崎 靖

病理組織検査料のご請求について

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は愛知医科大学加齢医科学研究所の神経疾患の剖検、病理診断、臨床病理カンファレンス（CPC）、研究活動、教育活動等にご理解並びにご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

従来、当研究所では神経疾患の病理解剖を担当し、病理組織標本作製、神経病理診断、CPCなどを30年以上にわたり行ってまいりました。各剖検症例毎に詳細なCPCを行い、神経病理所見や病理診断結果を主治医の先生、臨床の先生方にフィードバックするという形で、医療現場、患者さんやそのご家族にもご評価いただいているものと考えております。

さて、病理解剖に関わる費用に関しては日本病理学会の平成17年の試算では1症例あたり平均的に約250,000円<<http://pathology.or.jp/jigyou/shishin/boken-sisan-050118.html>>となっております。神経系の標本作製には、一般的な全身病理解剖よりもさらに時間と費用を要し、特殊染色（銀染色など）、大きな切片の作製、特異的抗体を使用した免疫染色、電子顕微鏡での観察などには特殊な設備環境、多数の消耗品、熟練した標本作成技術と診断技術が必要です。実際にはこれら神経系の標本作製には1症例あたり250,000円以上の経費となっておりますが、これまでは1症例あたり200,000円で行って参りました。しかし、前述のとおり標本作製と診断には多くの消耗品、高い技術力と経験が必要であり、備品の減価償却費、多額の消耗品費、非常勤技師の賃金などを含めた費用は膨大で、一施設の努力では限界があります。消費税の段階的な引き上げ、消耗品費の値上がりもあり、誠に申し訳ありませんが、病理組織検査料を改訂させていただくことといたしました。今後は、病理組織標本の作製および診断を含めた病理組織検査料は1症例につき250,000円（税込）として算定させていただけると幸甚です。病理解剖や検討会などに関する担当スタッフへの代務料、交通費は別途お支払い下さい。

誠に恐縮ですが、令和4年4月1日の剖検例から下記のとおりご請求させていただきたいと思っております。ご理解とご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 白

記

加齢医科学研究所における病理組織検査料（病理標本作成料、病理診断料、報告書作成料を含む）
1症例：250,000円（税込）

- ◆ 上記金額については、日本病理学会や愛知県医師会剖検システムの剖検費用を参考に算出しております。
- ◆ 感染性の高い特殊な症例、依頼元病院で剖検が困難な症例については、愛知医科大学で病理解剖を行います。解剖時諸経費（施設使用料や解剖に係る消耗品など）として別途80,000円（税込）が必要になります。ご遺体の搬送費用は依頼元病院の方でお支払いください。

なお、ご請求に際しては、当研究所から請求書をお送りいたします。請求内容や不明な点等につきましては、下記事務担当者までご連絡ください。

<事務担当>

愛知医科大学 加齢医科学研究所 事務担当：竹内 美樹

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1-1

TEL：0561-62-3311（内線12091）FAX：0561-63-3531（直通）E-mail：kareiken@aichi-med-u.ac.jp